

あの時1年生だった子ども達も小学校卒業です

東日本大震災から間もなく5年を迎えようとしています。全国に報道されている福島県や東京電力福島第一原発は、少しずつ復興に近づいているように見えますが、本当はどうなっているのでしょうか…

特集

「ふくしま」の子どもたち

いまだに自分の生まれ育った家に戻れず、仮設住宅で生活する人たちや、仮設校舎で勉強する子どもたちがたくさんいます。

そんな『ふくしま』で生活している小学校入学前から高校生までの子どもたちの様子や、震災当時の学校・給食センターの様子が報告されています。ぜひ、お読みください。知らなかった『ふくしま』が見えてくるかもしれません。



書かれていることは本当なのか？

確かめるために、来年の夏は「ふくしま」へ!!
制度研ふくしま大会参加お待ちしております

注文はこちらへ

- <http://www.bekkoame.ne.jp/ha/seidoken/>
(「制度研」で検索できます)
- E-mail seidoken@ha.bekkoame.ne.jp
- 神奈川県横浜市立中山中学校
植松直人
〒226-0013
神奈川県横浜市緑区寺山町653-21
TEL 045-931-2520 FAX 045-934-4676

目次

<特集:「ふくしま」の子どもたち>

- 特集に向けて —東日本大震災・あれから—
- 笑顔で～母として～
- 放射能被害のもとで
—子どもたちの生活を
より豊かなものにするために—
- 福島(南相馬)の抱える問題点
- 「ぼくってどうしてここにいるの？」
- 「震災・原発事故後の相馬・双葉地域の県立高校」
—「ふたば未来学園」と
一部のサテライト校の現状—
- いわき市の学校給食の記録
- ふくしまの「子ども」と「学校」の今
- 教育委員会へのインタビュー
—除染事業を優先せざるを得ない福島
耐震化工事の進捗にも影響—
- 3.11以降の記録
- 自分のブログから
「3月11日～3月25日の震災記録」

《連載》

- 子どもを守るセーフティネット
福島の高校生が動かした生活保護行政

2015年10月30日発行
A5判 64ページ
500円 (送料90円)

編集・発行 全国学校事務職員制度研究会